

論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 小川修平
論文審査委員	主査 日高真純 印
	副査 古村南夫 印
	副査 北尾洋之 印
論文題目	JNK inhibition enhances cell-cell adhesion impaired by desmoglein 3 gene disruption in keratinocytes.
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>デスモグレインは(DSG)は上皮の細胞間接着構造であるデスモソームを形成する。尋常性天疱瘡は DSG3 の自己抗体産生によっておこる難治性の自己免疫疾患で、皮膚および口腔粘膜上皮に水疱を生じる。本論文は、論文提出者らが構築した DSG3 ノックアウト K38 細胞(マウス由来ケラチノサイト)を用いて、DSG3 欠損の細胞間接着に及ぼす影響を MAPK キナーゼとの関連で解析したものである。その結果、DSG3 欠損により細胞間接着部における DSG1 の局在が著しく減少すること、また、その障害が JNK の活性化を阻害することで回復することが明らかとなった。これらのことより、DSG3 欠損による疾患において、ストレス応答性 MAP キナーゼの1つである JNK の活性を阻害することで、皮膚や口腔粘膜上皮の細胞間接着を改善できる可能性を示唆している。</p> <p>本結果は学術的に価値があり、公開審査会とその後の非公開審査会の質疑応答で論文提出者からの的確な回答が得られた。よって予備審査を合格と判定した。</p>	